

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 教育-12 学校施設管理事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	学校施設課	関連課	教育総務課、経営企画課				
分野名	学校教育						
目標 (目標値)	市立の小学校16校・中学校9校の適正な管理運営及び維持管理を行います。						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
事業の対象者数	11,391人	11,301人	11,144人				
運営資源状況	決算値(千円)	101,980千円	108,664千円	131,153千円	24年度人件費 7,824,912円/人 (23年度人件費) 8,427,745円/人 (22年度人件費) 8,519,656円/人		
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	101,980千円	108,664千円	131,153千円			
	人員配置数	0.6人	0.5人	0.7人			
	人件費(千円)	4,695千円	4,214千円	5,964千円			
	協働のパートナー						
事務事業運営経費	総事業費(千円)	106,675千円	112,878千円	137,117千円			
	市民1人当りの経費(円)	602円	637円	774円			
	対象者1人当りの経費(円)	9,365円	9,988円	12,304円			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
学校施設管理事業	101,980千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	学校用地・仮設校舎賃借、建物共済保険及び学校警備等施設管理に関する事務。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	世界遺産ガイダンス施設の候補である御成小学校旧講堂について、当面の安全対策を講じる必要がある。		
課題解決のための取組	御成小学校旧講堂について、安全対策を講じるため屋根材等落下防止業務委託を行った。	取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題	世界遺産ガイダンス施設の候補地が扇ヶ谷一丁目に変更されたことにより、御成小学校旧講堂の保存・活用方法が白紙に戻った。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		今後、御成小学校旧講堂の保存と活用方法については経営企画課が主管となって検討を進めるが、公有財産の適正管理の観点から、財産所管について関連課と調整及び検討を図る必要がある。	↓
③有効性 ○		B			学校施設課長
④公平性 ○					渡辺 英史

